

水町メディカルクラブ会員の皆様へ

拝啓 台風に振り回された今年の夏を皆様いかがお過ごしでしょうか。

糸井隆夫・東京医科大学主任教授【胆肝膵特別外来】の9月開設につきましては、先般「水町クォーター 8月号」にてお知らせをさせていただき、皆様にはご高覧のことと存じますが、再度、糸井教授が発表された『膵臓の超音波内視鏡検査』を添えて、ご案内申し上げます。

糸井教授は本年7月に東京医科大学消化器内科学分野主任教授に就任されましたが、それ以前より、この分野においては、慶應義塾大学特任准教授、東京医科歯科大学客員教授として指導に当たってこられました。

海外から招聘されたご経歴も数多く、第一人者としての地位を揺るぎないものとされました。まさにスーパードクターの名に相応しいご活躍ぶりであります。

水町メディカルクラブでは、発足当初より、無痛性内視鏡を駆使し、食道・胃・十二指腸・大腸・直腸等の精査を、非侵襲的に実施して参りました。以来、2年以上在籍の会員様では、この領域の疾患による死亡例はありません。また、胸部疾患におきましても、CTの有効活用により肺癌で亡くなった方はいらっしやいません。さらに、頭部につきましても、MRIの自在な利用により、くも膜下出血に代表される脳卒中等で命を失われた方はおられません。

以上は、いずれも、内視鏡(上・下)、MRI、CT等を駆使した、的確な検査体制が功を奏したものと考えております。

一方、胆・肝・膵の領域では、年に1~2例、残念な結果を受け入れることを余儀なくされ、痛恨の思いでありました。とりわけ膵臓癌については苦い記憶が今も甦ります。

この度、待ち望んでいた領域の切り札として、糸井教授を水町クリニックにお迎えできることになりましたことは、水町メディカルクラブ会員の皆様には、なによりの朗報と存じます。

特別外来では、糸井教授自らが、エコー検査、さらには最新の超音波内視鏡検査を、学外では初めて水町クリニックのみにて実施くださることになりました。

多発する難治性かつ死亡率の高い膵臓癌の制圧には、一刻も早い、精査と加療のほか、対策はありません。

折しも本年は、クリニック開設35周年、メディカルクラブ創設25周年の節目の年です。私にとりましても、今年最高のトピックスであります。

【糸井教授 胆肝膵特別外来】は、“手作りの都市型医療・安心と信頼心地良さ”を標榜する水町メディカルクラブが、会員の皆様に、自信と誇りをもってお届けする「究極の予防医学」であります。

まずもって会員の皆様に糸井教授特別外来(年間120名の検査を予定)を優先的に受診していただきたく、改めてご案内申し上げます。

お早目のご予約をお待ち申し上げます。

敬具

水町クリニック
総院長 水町 重範